

東洋電機製造の100年を超える歴史

高度経済成長

1918年に「鉄道車両用電機品の国産化」を企図して設立され、国内はもとより広く東洋各国へ製品を輸出し、国の発展に寄与したいとの壮大な想いが、「東洋電機製造」という社名の由来となりました。そしてこの想いは、歴代の社員たちに受け継がれ、今では当社の製品は世界の社会・産業インフラシステムの発展に貢献しています。

1918～1949



当社社員と、提携先英ディッカー社の技術指導員との集合写真

1918 ●英国のディッカー社と技術提携し資本金300万円で創立

1919 ●横浜工場操業開始



操業開始当時の横浜工場(横浜市保土ヶ谷区)

1972 ●世界初の完全ブラシレス電動発電機(BLMG)完成
●わが国初の150kVA 440Hz静止形CVCF完成

1973 ●定期券発行システム完成

1977 ●大型自動製図機完成

1978 ●当社独自のAFEチョップ装置を開発

1983 ●車内補充券発行システム完成

1985 ●現在の横浜製作所竣工

●国鉄205系電車で世界初の添加励磁式界磁制御装置納入

1988 ●世界初のヒートパイプ冷却式の8個電動機一括制御VVVFインバータ完成、東京急行電鉄に納入

1989 ●わが国初の逆導通GTOサイリスタを使用した小型VVVFインバータ完成

創立
戦後

1920 ●直接制御器、主電動機を京阪電気鉄道へ納入

1921 ●わが国初の国産パンタグラフ完成

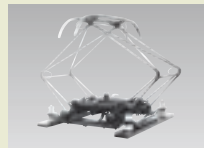
1926 ●三相交流整流子電動機(シュラゲ形、のちのASモータ)製作開始

1932 ●わが国初のトロリーバス用電機品完成

●わが国初の複巻電動機使用の回生発電ブレーキ付制御装置完成

1935 ●わが国初のディーゼル電気自動車完成、相模鉄道に納入

1949 ●株を東京証券取引所(一部市場)に上場



初期の国産パンタグラフ



三相交流整流子電動機(シュラゲ形、のちのASモータ)

1990～2023

1990 ●わが国初のストローク切替形戸閉機械完成
●わが国初のインテリジェント・ドアシステム完成

1991 ●わが国初の1,500V量産形逆導通GTOサイリスタ使用の軽量VVVFインバータ完成

1997 ●自動改札機対応の車内補充券発行機完成

1998 ●わが国で初めて北京市に地下鉄電車でVVVFインバータ駆動電機品を納入(復八線)



中国・北京市 復八線

2000 ●永久磁石同期電動機(EDモータ)完成

2004 ●世界初の「マイクロガスタービンハイブリッド車両」用電機品開発

●わが国初の「フルフラット超低床LRV車両」を共同開発
●自動車用インホイールモータの開発・走行に成功

2007 ●交通系ICカード「PASMO」対応の定期券発行機を駅施設に納入

2008 ●VF66インバータの販売開始

2012 ●JR西日本向け車掌用携帯端末稼働

2014 ●上越・北陸新幹線E7系向け電機品納入

2018 ●5月滋賀竜王製作所竣工

●6月東洋電機製造創立100周年

●鉄道用超電導フライホイール蓄電システムの委託研究開発を受注



アメリカ・ロサンゼルス郡都市圏交通局P3010形LRV

2022 ●インタイヤハウスダイナモを用いた自動車の車両試験システムを納入

●愛知高速交通株式会社向けVVVF装置に遠隔監視システムを初搭載



インタイヤハウスダイナモ

●東京証券取引所スタンダード市場に移行

2023 ●インドネシア通勤鉄道向け新造車両用電機品を受注

戦後復興

グローバル展開
100年のその先へ

1950～1989

1950 ●ST型分巻整流子電動機(200馬力)開発

1952 ●わが国初の中空軸平行カルダン駆動方式完成

1958 ●国鉄特急型電車「こだま」用主電動機、制御装置完成

1959 ●自動列車停止装置(ATS)完成

1960 ●新幹線用主電動機、駆動装置試作

●パナマ運河曳船用電気機関車受注

●わが国初の車両用定速運転制御装置完成

●わが国初の船舶用油圧ウインチ完成

1963 ●新幹線用パンタグラフ国鉄へ納入

1965 ●わが国初のサイリスタ静止レオナード装置シリーズ完成

1969 ●自動車用ブレーキ試験装置完成



中空軸平行カルダン駆動方式の主電動機と駆動装置(小田急電鉄SE車)



日本国有鉄道151系(特急型電車「こだま」)



パナマ運河曳船用電気機関車



日本国有鉄道0系新幹線電車